

もっと防災について考える

▶ 福島市の防災啓発活動に対する取組み

福島市では、水害や土砂災害など自然災害の恐ろしさや、災害時の避難についての知識を深め、減災に役立ていただくため様々な講話や講座を実施しております。

地区防災訓練

地域のつながり強化、防災力の向上を目的とし、支所単位にて地域の特性に応じた防災訓練を行っております。いざという時の安心につながりますので積極的に参加しましょう。また、地域の危険な場所や避難経路を考える「災害図上訓練（DIG）」を行い、災害に備えましょう。なお、「災害図上訓練」のお問合せについては、各地区を管轄する消防署所へお問合せ下さい。

防 災 講 話

内 容 防災・減災についての知識や行動、備えについてお話させていただきます。

※講和内容については事前にご相談ください。

担当課 市民安全部危機管理室 福島市本庁舎 4階

連絡先 電話 024-525-3793(直) FAX 024-536-4370

洪水・土砂災害ハザードマップ出前講座

内 容 水害や土砂災害等自然災害の恐ろしさや、ハザードマップを活用した災害時の避難についてお話させていただきます。

担当課 建設部河川課 福島市本庁舎 5階

連絡先 電話 024-525-3756(直) FAX 024-536-3271

▶ 洪水ハザードマップを活用する

1 マップを見てご自分の家の位置を確認しましょう。

2 マップを見て自分の家の周辺の避難所を確認しましょう。

3 災害がおきてしまったらの「避難時の注意事項」をよく理解しましょう

- いざという時には、自主的に安全・確実に避難できるようにしましょう。
- グループあるいは各家庭で、洪水時にどのように避難行動するのか話し合いましょう。

4 地域のグループで集まり、自分たちの地域で洪水被害や避難について、話し合いましょう。

5 地域のグループで避難ルート等について話し合い、避難経路や自分たちの避難所を設定しましょう。

- 避難所へ行くのにどのような経路があるのか調べましょう。
- マップに示されている浸水区域を参考にし、避難経路は浸水しにくい道順を2～3選びましょう。
- 浸水時に通行不可となるような地下道や土砂災害危険箇所等は避けて設定しましょう。
- 夜間や浸水時には、道路と水路の区分が分かりにくくなります。ガードレールや電柱などが目印となる道路を選びましょう。

6 避難情報の「防災情報の伝わり方」を確認しましょう。

7 わが家のハザードマップを作成しましょう。